

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2375700792
法人名	社会福祉法人 愛光園
事業所名	グループホームもくせいの家(きんもくせい・ぎんもくせい)
訪問調査日	平成20年11月25日
評価確定日	平成20年12月22日
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法
[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月24日

【評価実施概要】

事業所番号	2375700792		
法人名	社会福祉法人 愛光園		
事業所名	グループホームもくせいの家(きんもくせい・ぎんもくせい)		
所在地	知多郡東浦町大字緒川字上苧又池58番地の1 (電話) 0562-85-0310		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7階		
訪問調査日	平成20年11月25日	評価確定日	平成20年12月22日

【情報提供票より】(平成20年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	14年4月15日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 16 人
職員数	14 人	常勤 9人, 非常勤 5人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	木造一部鉄筋コンクリート造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	有() 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(50,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		900 円	

(4) 利用者の概要(平成20年10月31日現在)

利用者人数	16 名	男性	1 名	女性	15 名	
要介護1	1名	要介護2	3名			
要介護3	7名	要介護4	2名			
要介護5	1名	要支援2	0名			
年齢	平均	85 歳	最低	74 歳	最高	94 歳
協力医療機関名	国立長寿医療センター・柳原医院・西原歯科					

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広大な敷地の中にはグループホーム、介護老人保健施設、デイサービスセンターがある。平屋の建物であるホームは、暖かみのある木材(梁、太い柱、窓、床、ウッドテラスなど)がたくさん使われている。居室を挟んで中央に居間と食堂を配し、皆がゆったりと集えるスペースをつくっている。居間は天井が高くて日当たりが良く、大きな窓からは季節を感じることができる。南側には花壇や畑があり入居者は花摘みや水やり、収穫など楽しんでいる。職員は家族を本人の生活を支えるためのパートナーとして、気軽にホームに来てもらえるように、毎月ユニットごとの家族会を行なっている。また、行事を共に楽しんだり、課題について話し合っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果について管理者とホーム長で話し合い、改善にむけできるところから取り組んだ。理念についてワンポイント研修で学習し、地域とのつきあいにおいては地域の夏祭りに参加したり、同業者とのネットワークづくりなど取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員が行ない管理者が取りまとめた。管理者は自己評価から各職員の考えが良く分かり、結果をどう活かしていくかが大切と考えている。職員からは「難しかったがケアの見直しになった」「改めて気づくことができた」との声があり、ケアの振り返りや見直しの良い機会になっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は入居者代表、家族代表、地域住民代表、民生委員、地域包括支援センター職員、管理者、ホーム長の参加のもと2カ月に1回開催している。会議では事業所の活動や状況など報告し、毎回テーマを決めて話し合い、メンバーからの要望や意見、助言など得て双方向的な会議になっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>合同家族会を年3回開催して意見など出してもらったり、訪問時に職員からコミュニケーションを図り、相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。苦情相談窓口などについては入居時に説明している。各玄関に意見箱を置いて家族が気兼ねなく意見、苦情など言えるよう配慮されている。家族の要望で玄関に職員の名前と顔が分かるように全職員の顔写真を掲示した。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>広大な敷地の中にあるホームは法人の福祉施設が点在する中の一つであるため、地域との連携はなかなか難しい。しかし、地域の夏祭りに参加したり、農協へ買い物に出かけたりして徐々に交流を図っている。また、隣接する施設の喫茶店や長寿体操教室に行くことで、いろいろな人と交流することができる。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念の他に「家庭的な雰囲気づくりに努めます。人としての尊厳やプライバシーを守ります。生活の主体性・自己決定を尊重し、その人らしさを大切にします。」と事業所独自の理念がある。職員はその人が今まで暮らしてきたのと変わらず、一人ひとりの持っている力を大切にすることを目指している。		地域との交流も少しずつではあるが取り組んでいるので、これまでの理念に地域密着型サービスとしての役割、地域との支えあいについて盛り込むことを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議でワンポイント研修として理念について話をしている。また、各ユニットのホール入口に理念を掲示している。職員はその人らしさを大切に、できることを奪わないで持っている力を活かした介護ができるように、理念を念頭に支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは広大な敷地の中にあるので、常に隣近所の付き合いはできないが、地域の夏祭りに参加し一緒に盆踊りを踊ったり、見学して楽しんだ。また、農協の朝市にボランティアと買い物に行くなど、徐々に地域と交流することができるようになってきた。隣接する施設の喫茶店や長寿体操教室など行くことができ、いろいろな人と交流することができる。		開設当初は周囲に住宅が少なく、地域住民との交流ができない環境であったが、最近は宅地造成が進み地域住民との連携が徐々にできているので、事業所から積極的にアプローチされることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員が取り組み、管理者が取りまとめた。管理者は職員の考えがよく分かり、今後の指導に役立て、結果をどう活かしていくかが大切と考えている。職員からは「文字にすることが難しかったが自分のケアの見直しになった」「改めて気付くことができた」との声があり、日常業務の見直しや振り返りのよい機会になった。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者代表、家族代表、地域住民代表、民生委員、地域包括支援センター職員、管理者、ホーム長の参加のもと2カ月に1回開催している。会議では報告事項として、前回の議事録を確認し、経過説明や委員から要望、意見を聴いている。また、毎回テーマを決めて話し合い、メンバーからいろいろな意見をいただき、より質の高いサービス提供を目指している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者が認定審査会の委員をしているので、2週間に1度役所に行く機会があり、相談や情報交換を行なっている。開設時から16名の定員で行なっていたが、役所の担当者に相談し、来年4月から18名の定員で運営することになった。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問が多く来訪時には暮らしぶりや日々の様子を職員が伝えている。緊急時はもちろん些細な事でもその都度電話で報告している。また、ユニットごとの家族会（月1回）や合同家族会（年3回）において、出納帳の確認や職員の異動、運営推進会議の報告など行なっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年3回合同家族会を開催し要望や意見など聞いている。家族の要望で全職員の名前と顔が分かる写真を玄関に掲示することになった。職員は訪問時に家族が相談や意見など言いやすい雰囲気づくりを心がけ、コミュニケーションを図っている。苦情相談窓口については、入居時に説明を行なっている。玄関に意見箱を設置しているが活用されていない。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム長は日々職員の不安や不満を感じたら、話を聞きすぐ解決するよう心がけている。また、4月から職員会議にスーパーバイザーとして元看護師が参加し、職員の困っていることや悩んでいることなどアンケートを取り話し合っている。新人職員は1カ月間先輩職員に付き、入居者に不安やダメージを与えないよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所では職員会議の前後に勉強会（ワンポイント研修）を行なっている。法人の内部研修が毎月開催されており、自由に参加することができる。また、年間計画で法人研修として新人、主任、初級、リーダー職員など各自の立場、経験や習熟度の段階に応じて行なっている。また、日々のケアの中でも職員同士で介護の仕方など、互いに教えあひながらスキルアップを図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	愛知県認知症グループホーム連絡協議会に加入し情報交換をしている。また、管理者が近隣地区のグループホーム連絡協議会のブロック長を務め、相互交流や意見交換などネットワークづくりを行なっている。来年2月には相互訪問を企画している。職員は法人内での他の介護サービス事業者と研修会や研究発表会で交流する機会がある。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居相談があれば一度ホーム見学に来てもらい、入居者と一緒におやつなど食べ、少しでも馴染んでもらうよう工夫している。また、入院、入所している人には、ホームから訪問し面接を行なっている。併設のデイサービスセンターや老人保健施設の利用から入居される方もいる。ホームがどんな所なのか分からない人が多いが、職員は「ここが自分の家」として安心して生活できるよう環境づくりに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の準備（味噌汁の味付け、盛り付け、お茶入れなど）や片付け、洗濯物干しや取り込み、掃除など家事全般で教えてもらいながら、それぞれできる範囲で職員と一緒に行動し、共に支え合う関係を築いている。訪問時に急に天気が悪くなってきたので、一人の入居者が干してある毛布を取り込んでいる姿がうかがえた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の担当職員は一人ひとりの希望や意向など日常の会話の中から把握するように努めている。把握が困難な場合は答えられるような質問の仕方をしたり、選択肢を狭めていき最終的には自分で決めてもらうよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の作成担当者がアセスメントを行い、本人や家族の要望を反映し、入居者の立場に立った介護計画を作成している。これを計画作成担当者と話し合いながら介護計画を完成させている。職員は計画に基づき日々サービスを行いながら、状況をチェックし、計画に反映させるよう努めている。家族の来訪時には説明し、確認の捺印をもらっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは原則3カ月毎に行い、健康チェックは週に1回実施し、必要な入居者には毎日実施している。なお、入居者の状態に変化が生じた場合は、本人や家族と話し合い、状況に即した計画の見直しを行っている。職員は担当入居者の日々の生活の様子、気づき、思いなどを生活日誌に記入し申し送りにより情報を共有している。これを毎月開催のケース会議で検討し、介護計画の見直しに反映させている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームとして医療連携体制加算は受けていないが、終末期ケアの経験があり、本人、家族の意向を受け協力医、看護師、職員が連携し安心して過ごせるよう配慮している。また、急変時には家族、協力医とその都度話し合い、家族の意向を確認しながら納得のいく終末期ケアに取り組んでいる。個別外出制度はあるが、現在利用者はなく希望者があれば対応したいと考えている。入居者には日常生活活動訓練をほぼ毎日実施し、全員に声をかけ誘導し、それぞれできる範囲の動きをするよう取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医については入居時に選択してもらい、ホーム外のかかりつけ医への受診は原則家族にお願いしている。かかりつけ医へは日頃の健康状態を知らせ、受診結果の情報は家族から得て支援につなげている。協力医の訪問診療は月1回職員が同席して行い、夜間の受診もホームで対応している。また、歯科医や国立長寿医療センターとも提携して、各種指導を受け入居者の安全と健康に配慮している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化についての方針を文書にはしていないが、必要になった時、その都度話し合いホームとして対応できる最大の支援について説明している。ホームで終末期を過ごした家族からの報告や、ケアの様子、在宅看護を受けながらの看取りについての話、記録などの情報を職員で共有して支援につなげている。緊急時の延命と尊厳死の宣誓書について、家族会で話し合い、個々の対応や希望については、今後受ける予定にしている。なお、緊急時の対応はホームで取することを家族に伝えている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーの確保及び個人情報については、就業規則で規定され、職員には入社時に説明し遵守することで誓約書の提出を求めている。個人情報の書類は、鍵の付いたロッカーに保管し、破棄する場合はシュレッダーをかけて情報が漏洩しないよう配慮している。日々の生活で職員はさりげない支援に心がけ、入居者の尊厳やプライバシーに配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、本人のペースを大切に一人ひとりの思いに添った支援をするよう努めている。家族アンケートからも「個人の意思が尊重されている」「本人がやれることを中心に強制されないところが良い」「よく対応してくれる」などと高い評価を得ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは職員が入居者の好みを聞いて作成している。ホーム敷地内の畑で、入居者と一緒に育てた野菜など食材として使用し、季節感のある食事を職員と共に楽しんでいる。食事時間、食事場所は入居者の希望に添うよう支援している。また、入居者の郷土の料理をメニューとして取り入れ、レパートリーを拡げ入居者の楽しみにつなげている。今後、個別ケアとして、入居者の誕生日に好きなものを食べに行けるようにしたいと考えている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は大まかに決めているが、順番の決めは無く入居者の希望などに配慮しながら実施している。入浴しながら入居者については、家族の協力を得て週2回を目安に入浴している。また、自立度の高い入居者には職員が見守りをしながら、ゆったりと一人で入浴が楽しめるよう取り組んでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は入居者のできること、得意なこと、趣味などを把握している。リビングの壁には習字や絵など、入居者の作品が飾られている。日常生活の中で食事の声かけなど、その日の当番を決め、役割のある暮らしをつくるよう配慮している。職員に行事を立案する月当番があり、季節に合わせた行事や外出を計画をしている。また、法人内でボランティアによる演奏会やお茶会などがあり、入居者の楽しみ、気晴らしの支援に努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム敷地内に散歩道があり、車いすでの通行も可能で天候に合わせて、ほぼ毎日散歩している。買い物は職員と一緒に出かけ、欲しい物を購入している。法人内でのバザーでは家族と共に参加し、買い物をしたり、夕食後イルミネーションを観に行くなど、入居者の体調に配慮しながら気分転換に努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設当初から鍵をかけない方針で、管理者、職員ともに鍵をかけないケアの大切さを理解している。新規の入居者がある時は、入居者の様子をみながら施錠を行い、夜間と職員の勤務人数が少ない時などは、安全に配慮して日中でも施錠している。玄関にはドアチャイムが設置され、危険回避に配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者を設置して、避難訓練を条件の悪い夜間を想定して行っている。また、法人内で行う消火訓練に入居者と一緒に参加して災害時に備えている。災害時には法人内施設の職員の協力を得られるようマニュアルが整備されており、備蓄品については、水や非常食など3日分を目途に準備している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は1カ月毎に職員が立て、法人内の管理栄養士のチェックや指導を受けている。入居者の体重測定は月1回、バイタルチェックは毎週、体調に変化がある時は毎日行い、その状況を記録し、職員で情報を共有している。入居者の体調によっては、食事に配慮し治療食も対応可能であり、状態によっては受診する場合もある。水分補給は1日1を目安に、いつでも飲めるようポットが用意されている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広いリビングには、食事をする大きなテーブルがあり、手すりの付いたソファ、畳のコーナーがあり、落ち着いた雰囲気の中で入居者はテレビを見たり、話しをしたりして穏やかに過ごしている。床には床暖房が施され、バリアフリーとなっており、車いす利用者の移動に配慮している。壁には、入居者の作品や生け花が飾られ、家庭的な雰囲気づくりに配慮している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は和室と洋室があり、入居時の選択制になっている。和室には押し入れ、洋室には洗面台が常設されており、入居者が使い慣れたタンス、鏡台、文机等が使いやすく配置されている。また、家族の写真や思い出の品が飾られ、居心地の良い居室づくりに取り組んでいる。窓には防災カーテンがあり、居室入り口には好みののれんや手作りの表札が目につきやすいよう掛けられている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。